

祇園新橋 まちづくりニュース

祇園新橋地域のまちづくりをすすめる、ひとつの集まりとして「祇園新橋まちづくり部」は活動をしています。「祇園新橋まちづくりニュース」は、これからのまちづくりを皆様とともに考え、その取組をお知らせするニュースです。

2018年(平成30年)
7月

Vol.37

発行：祇園新橋まちづくり部

TEL:090-1918-4249(畠田)

Email:gionshinbashitatumi@gmail.com

HP: <http://gion-shinbashi.blog.jp/>

第44回 意見交換会のご案内

HOW TO 事前協議。

事前協議が8月開始予定となりました。何をするのか分かっていれば安心です！

【日時】2018年7月10日(火) 午後1時30分～3時

【場所】「登希代の2かい」(大和大路新橋通上ル東側)

【申込】申込は不要です。気楽にご参加ください。

祇園新橋を大切に思う皆さまのご参加お待ちしております！

報告 前撮り業者 会合

祇園新橋景観づくり協議会は、この春より前撮り事業者と、撮影マナーについての覚書を交わしていますが、春のシーズンを終え、その状況について事業者と意見交換いたしました。

地域の声として、時間厳守や腕章取付など撮影スタッフへの周知不足があげられました。また、マナーだけでなく景観への貢献が不可欠であることも意見されました。

撮影事業者からは、マナーの悪い業者も見かけるので、声掛けしたいが、トラブルになりかねず難しい、また、撮影マナーは本来は事業者が主体となるべき等の意見がありました。

今後は秋のシーズンまでに、事業者の中から3事業者が代表となり、祇園新橋地域のためとなる撮影マナーの確立と啓発に責任をもって進めていくことが決まりました。

協議会では、秋のシーズン以降の前撮り撮影への対応については、事業者の提案次第であると考えておりますが、持続的な景観をつくるという目的をもって、代表となる事業者と定期的に会合を開き、地域の要望を伝えていきます。



5月28日(月)「京都市景観まちづくりセンター」にて。26社39名の参加でした。ワークショップ形式で議論いたしました。

7月29日(日)朝9時より、撮影業者の皆さんが声を掛け合って、祇園新橋の清掃活動をおこないます。

辰巳大明神土用供養祭のご案内

【無病息災・家内安全・商売繁盛】を祈願いたします m(_ _)m

【日時】2018年7月27日(金) 午後1時(予定)～

【準備】午前10時から(1時間ほど)

【片付】午後1時半から

第43回は、Noi Planning Studioの照明デザイナー、日根伸夫氏、西村美由紀氏をお招きして勉強会を開催しました。

京都市が新たに設置した白川のLED照明がまぶしすぎるという話題があったことから開催しました。白川沿いのスポットライトも各店バラバラという状況もあり、祇園新橋にふさわしい夜間景観について学び、地域で調和のとれた夜間景観につなげていければと考えています。

当日はスライドに加え、実際にライティングの実演により説明いただきました。

専門家の目からも、現状では明るすぎると指摘いただきました。白川沿いのスポットライトも遮光板を設置することで、並木を照らしつつ、まぶしくないように調整することは可能だそうです。

また、祇園らしい雰囲気のある照明にするのは、光源が直接目に触れないことや電球やろうそくのような温かい光がオススメとお話いただきました。

お店の看板や外灯にも取り入れていただければと思います。



6月12日(火)「登希代の2かい」にて。参加者は17名でした。

実際に、上からの照明にプラスして、ほのかな灯りを加えると、グッとよくなるのが一目瞭然です。



【意見交換メモ】

■ 祇園の夜を魅了する 照明の話

- ・東日本大震災以後に普及したLEDは、省エネ、長寿命、熱線が少ないなどの特長がある。食材を美味しく見せるLEDもある。
- ・屋外照明は「安全・防犯」の目的に加え、「景観」として、まちの個性を演出する目的もある。ショッピングセンターと夜の祇園にふさわしい光は異なるはず。
- ・昼と同じようにする必要はない。
- ・「光」の基本について。「光」とは、電磁波の一種の可視光線のこと。
- ・よく言われる「ワット」とは、電力の単位であるが、明るさの目安として一般的によく使われてきた。
- ・光の量は「光度 (カンデラ)」、「光束 (ルーメン)」、「照度 (ルクス)」、「輝度 (カンデラ/m²)」で表す。
- ・「光度」は、ある方向での光の強さ、「光束」は光源から出る光の量、「照度」は場所による明るさの違い、「輝度」は照度と物の関係で、「輝度」で明るさを測る。
- ・LEDは光を落としていくと、寂しい感じの光になる。(将来は改良されるかもしれないが)
- ・光を落として使うことが前提なら、40ワット相当のLEDを使うのが好ましい(本当は20ワットが理想)。
- ・きれいな光を使いたいときは、LEDより白熱灯に軍配が上がる。
- ・光は上から照らす方が自然な感じになる。雰囲気を出すためには、下からの光を足す(実演)。
- ・(質問) 現在は川の向こうから照明を照らしているが、木の根元、屋根からなど、ライトを設置する場所を変えた方がいいか→(答え)。電球色で統一し、遮光板で調節することで現状の位置でもよい。さらに、枝の下にほのかな光を加えると、グッと雰囲気がよくなる。

■ その他

(神奈比さんから)

- ・天然木ロールスクリーンのサンプルをいただいた。どれが良いか検討・提案してほしい。
- ・天然木は雰囲気はよいが、非常に高価であるのが問題。

■ 報告

- ・まちづくり部の活動予定(2017年度決算、2018年度予算)について報告。
- ・土用供養を7月27日頃に開催する。祇園祭の時期のため、時間は未定。
- ・祇園町南側で8月、外国人観光客の「迷惑行為」に関するアンケート調査を実施する。
- ・祇園町南側では、団体の外国人観光客の来訪(花見小路への入場)を制限することも検討されている。